

**CASBEE-新築(簡易版)2010年版**  
**(仮称)藤沢市リサイクルセンター建設工事**

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010  
 評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.4)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.32</b>					<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.8</b>	0.15	-	-			<b>2.8</b>
1.1 騒音		<b>3.0</b>	0.40	-	-			
1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		<b>2.6</b>	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-			
2 界壁遮音性能		<b>2.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-			
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.2</b>	0.35	-	-			<b>2.2</b>
2.1 室温制御		<b>2.2</b>	0.50	-	-			
1 室温		<b>3.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-			
4 ゾーン別制御性		<b>1.0</b>	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-			
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.1</b>	0.25	-	-			<b>3.1</b>
3.1 昼光利用		<b>3.4</b>	0.30	-	-			
1 昼光率		<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-			
2 方位別開口		-	-	<b>3.0</b>	-			
3 昼光利用設備	太陽光集光システム(レンズで集光した光ファイバー)に濃縮した光を照明に	<b>4.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-			
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-			
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-			
<b>4 空気環境</b>		<b>4.4</b>	0.25	-	-			<b>4.4</b>
4.1 発生源対策		<b>5.0</b>	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	ほぼ全面的にF の建築材料、VOC放散量の少ない建材を	<b>5.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		<b>4.3</b>	0.30	-	-			
1 換気量	シックハウス対策換気量の4.09倍の換気量を確保	<b>5.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-			
2 自然換気性能		<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-			
3 取り入れ外気への配慮	給気は、汚染源のない方向かつ排気口と6m離隔確保	<b>5.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		<b>3.0</b>	1.00	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.3</b>	0.40	-	-			<b>3.3</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		<b>1.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-			
2 高度情報通信設備対応		<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-			
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法に適合する基準を確保	<b>4.0</b>	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		<b>3.6</b>	0.30	-	-			
1 広さ感・景観		<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-			
2 リフレッシュスペース	環境啓発棟1階に自販機設置、各従業員スペースに休憩室等を設	<b>5.0</b>	0.33	-	-			
3 内装計画		<b>3.0</b>	0.33	-	-			
1.3 維持管理		<b>4.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	使い勝手に合わせた内装仕上げ	<b>4.0</b>	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	75LX以上の照度を確保、コンセントの適正配置	<b>4.0</b>	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.5</b>	0.31	-	-			<b>3.5</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.8</b>	0.48	-	-			
1 耐震性	建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。	<b>4.0</b>	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.3</b>	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		<b>3.0</b>	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		<b>3.0</b>	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	汚水・雑排水・通気にV P使用その他にEは無し	<b>5.0</b>	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.23	-	-			

2.4 信頼性	1 空調・換気設備		3.2	0.19	-	-		
	2 給排水・衛生設備	節水型器具、雨水再利用採用	3.0	0.20	-	-		
	3 電気設備		4.0	0.20	-	-		
	4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
	5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-		
	5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-		
3 対応性・更新性			3.0	0.29	-	-	3.0	
3.1 空間のゆとり			3.0	0.31	-	-		
1 階高のゆとり			3.0	0.60	3.0	-		
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	-		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-		
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-		
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-		
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-		
3 電気配線の更新性			3.0	0.11	-	-		
4 通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-		
5 設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-		
6 バックアップスペース			3.0	0.22	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.38	-	-	3.1	
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮			敷地と道路のレベル差を考慮した計画としている。建物を分棟配置とし、建物ボリュームを抑えている。緑地の計画。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8	
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.06	-	-	3.0	
2 自然エネルギー利用			4.5	0.27	-	-	4.5	
2.1 自然エネルギーの直接利用			トップライトの採用	4.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			太陽光電・風力発電・太陽熱利用システム・ハイブリット街路灯を採	5.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			3.8	0.40	-	-	3.8	
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)			ERR=13.7%	3.8	-	-		
集合住宅の評価			3.0	-	-	-		
4 効率的運用			3.5	0.27	-	-	3.5	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制			運用・維持・管理について提案	4.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4	
1 水資源保護			3.8	0.15	-	-	3.8	
1.1 節水			節水型器具の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.6	0.60	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無			雨水再利用システム採用	4.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.63	-	-	3.4	
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.07	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			高炉セメント(基礎地中梁)、電炉材(基礎地中梁)	5.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.24	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-		
1 消火剤			窒素ガス(ODP=0,GWP=0)使用のABC消火器を採用	4.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33	-	-		
3 冷媒			3.0	0.33	-	-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2	
1 地球温暖化への配慮			LCCO2削減率 約6%	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1	
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-		
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-		
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-		
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制			ビン・缶・ペット等の分別回収及び処理を実施	5.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-		
1 騒音			3.0	0.33	-	-		
2 振動			3.0	0.33	-	-		
3 悪臭			3.0	0.33	-	-		
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-		
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-		
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-		
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			屋外灯の配光方向を考慮、看板照明の未設置	5.0	0.70	-	-	
2 壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-		